

勤労者通信大学コース紹介

労働組合 コース

受講料……12,000 円
テキスト……A5 判 368 ページ
通信……3 回発行（2 か月に 1 回）
テストと添削……2 回（3 か月ごとに 1 回提出）
標準学習期間……6 か月（4 月開始の場合、4～9 月）
オンラインスクーリング、受講生用ウェブサイトあり



労働者の権利、要求からたたかひの基本まで体系的に学ぶ

多くの労働組合において組織強化の重要性が語られています。魅力を感じ労働組合に入る人をどう増やしていくのか、今後の運動をすすめていく働き手をどう広げていくのかはいずれの組織においても課題となっています。全労連が提起をしている「労働組合のバージョンアップ」を担う仲間の学習に最適なのが労働組合コースでの学習です。

労働組合運動の原則や基本について系統立てて話を聞くのは初めてという仲間とともに学習をし、確信を持って運動に携わってもらうことが、さらなる運動の飛躍につながります。

労働組合コースは、3 部 6 章構成のテキストで、「労働組合とは何か」など基本的なことから、労働組合活動の日常活動、そして社会変革における労働組合の役割まで体系的に学ぶことができます。

ある受講生の方の感想をご紹介します。

「受講前は、労働組合コースというのは自分が組合に入ったらどのような活動をするのかを勉強する、団体交渉・県労委・ストライキ・裁判のことなどに関わる話だと思っていた。実際はそれだけではなかった。もっと奥深いところまでカリキュラムに組まれていた。世界や日本の情勢に労働者が資本家の搾取と抑圧に負けず、どのように人間らしい働き方と生活を手にしていくのか、法律・活動などを学んだ。

その結果たとえ自分というちっぽけな存在でも人間らしい働き方と生活を追求してもよいのだ。つまり、小さな存在の集まり一丸となって活動して、初めてそれが得られることに気づき、自分にも存在価値があると知り嬉しかった。特に、自分の住んでいる地域は、中小企業が多く、身勝手な資本家の搾取と抑圧でまみれている。実際、苦しんでいる組合員もいる。地域の活動に励み、人間らしく働き、生活していきたいと思っている今日この頃です。」（神奈川、栄養士、全労連・全国一般）

人間らしい働き方、生き方をもとめる労働組合運動の前進をつくるため、一緒に学びましょう。

第1部 労働組合の基礎

第1章 労働組合とは何か

- 第1節 人間らしく働くことと労働組合
- 第2節 私たちが生きている資本主義社会とは？
- 第3節 労働組合の誕生と資本主義社会
- 第4節 労働組合の性格と役割

第2章 労働者と労働組合の権利

- 第1節 日本国憲法と人間らしく働くルール
- 第2節 労働組合に団結し、たたかう権利
- 第3節 労働者の権利の特質と権利闘争の原則
- 第4節 国際労働基準を日本のものに

第1部では、労働組合の基礎を学びます。

第1章では、労働者とはどういう存在なのか、労働組合はなぜ、なんのために生まれたのか、今日の資本主義社会での労働者・労働組合と労働組合の性格と役割などについて学びます。

第2章では、労働者・労働組合の人間らしく働く権利と権利闘争を学習します。人間らしく生き働くことが正しいこと（＝権利）であり、人間らしく生き働くためにたたかうことが必要、ということや、働くルールとは何かについて日本国憲法や労働法、ILO（国際労働機関）国際労働基準を手がかりに考えます。

第2部 要求をかちとるためには

第3章 労働者・労働組合の要求とは

- 第1節 労働者・労働組合の要求と組織化
- 第2節 労働者の基本要求
- 第3節 職場でのジェンダー平等の実現

第4章 労働者・国民の暮らしをよりよく

- 第1節 ルールある経済社会をめざすたたかい
- 第2節 制度・政策要求の意義とたたかい
- 第3節 労働法制改悪とのたたかい、雇用問題と働くルールの確立
- 第4節 税制と社会保障の充実
- 第5節 公務労働と労働組合

第2部では、労働者・国民の要求とその実現にむけたとりくみについて考えます。

第3章では、賃金や労働時間、労働安全衛生など、労働者・労働組合の要求についての基本的な内容、

職場でのジェンダー平等を学びます。

第4章では、税金や社会保障など、国のしくみ、制度にかかわる要求をとりあげます。私たちの暮らしの困難は働く場から直接生み出されるものと国のしくみ、制度によって生み出されるものがあるからです。また、公務労働運動についても学びます。

第3部 たたかいの基本方向

第5章 労働組合を強く大きく

第1節 労働組合を強く大きくするために

第2節 元気の出る活動と組織のあり方

第3節 ナショナルセンターの役割と国民的共同

第6章 よりよい社会と日本の未来

第1節 よりよい社会に変える労働組合運動

第2節 労働組合の平和と国際連帯の活動

第3節 世界の新たな流れと日本の未来

第4節 労働組合と社会変革 307

基礎学習 日本の労働者のたたかいのあゆみ

第3部では、労働組合のたたかいをどのように発展させていくかを学びます。

第5章では、労働組合を強く大きくするために元気の出る活動と組織のあり方、ナショナルセンターの役割と国民共同を学びます。

第6章では、よりよい社会と日本の未来をつくるために、社会を変える労働組合運動の役割、平和や国際連帯、世界の新たな流れと労働組合と社会変革について考えます。

最後に、基礎学習として、日本の労働者のたたかいのあゆみをまとめています。

ZOOM を活用したオンラインスクーリングを開催しています。

※右のQRコードで、過去のスクーリング動画がご覧いただけます。



労働組合コース 受講生の感想

●自分が直面する問題を学べた

自分ひとりでテキストに向かう時間をつくるのはなかなか大変ですが、学習会で仲間とともに集中できる時間はとても有意義です。今まさに自分が直面している問題について学ぶことができ、組合活動に取り組む意義を実感しています。

(鳥取、自治労連、43 歳)

●みんなが気軽に話し合える組織をめざして

労働組合のあり方について深く学ぶ機会となりました。組合員ひとり一人を主人公にした活動をするために、みんなが気軽に話し合える組織を目指して、自分にできることは何か、今後考えていきたいとします。

(群馬、医労連、27 歳)

●労働組合の基礎が学べた

今回受講した動機は、労働組合とはどのようなものなのかを理解するためです。入社後まわりの人々が労働組合に入っていて、自分もなんとなく組合に入りました。その労働組合がどういったものでどんな権利があり、活動をしているか知りませんでした。この受講をきっかけに労働組合の基礎を学ぶことができてよかったです。

(静岡、建交労、29 歳)

●権利のもとにある憲法や法律が学べた

「私たちは〇〇の権利がある」と、よく活動をしていて聞くと、伝えてもいるけど、そのもとになっている憲法や法律についてきちんと理解できていなかったなと思った。憲法や法律は苦手だったので、今回再学習をするととてもよい機会になった。

(青森、医労連、37 歳)

●ジェンダー平等や権利を考えていきたい

学生時代にアルバイトをしていましたが、こんなに労働について考えたことはないくらい、いろいろな法律で働く人の権利が守られていることを知りました。また、同時に現実には、まだまだ職場や働く立場の違いによって、たくさん問題があることを知りました。私自身女性であり、働き続けたいと思っているので、もっと問題意識をもって、まずは自分がジェンダー平等や労働者の権利などを考えていきたいと思いました。

(神奈川、保育士、23 歳)

●対話をして労働組合の必要性を見つけたい

今、私たちがかかえている問題点（組合員を増やすためには）についての章があったのでとてもためになった。労働組合を大きくするためには、活動家の存在が重要だと思うので、自分が活動家になれるように学習をしっかりとこなしていきたいと思った。また今の時代の組合をしっかりと考えていきたいと思った。今の時代はさまざまなところから情報を得ることができるので、労働組合の必要性が薄れてきているのだと思う。ここで大事なのが労働者ひとりひとりの対話だと思う。対話をして労働組合の必要性をみつけていきたい。

(愛媛、医労連、33 歳)

勤労者通信大学

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-4-4 平和と労働センター 5 階

TEL 03-5842-5644 FAX 03-5842-5645

WEB <http://www.gakusyu.gr.jp/kinro.html>

E-mail kin@gakusyu.gr.jp

